

取扱説明書

Windows 2000

MSCダウンロードキット





日本語版2.0j for Windows 95/98/2000

はじめに

このたびは、CAT EYE MSCダウンロードキットをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。 MSCダウンロードキットは、CAT EYE MSCシリーズ ハートレートコンピュータをPCに接続するための インタフェースユニットと対応ソフトウェアMSC e-Train Data™がセットされたものです。MSC e-Train Data™はMSCハートレートコンピュータで計測し蓄積したメモリ計測データ・心拍目標ゾーンデータ・ ラップデータをパソコンへ読込むと同時にグラフと数値情報による画面を表示します。またダウンロー ドしたこのデータは他の表計算ソフトを使って自由に加工することも可能です。

本書は、MSC e-Train Data™の操作方法とご使用上の注意点などについて説明しています。ご使用 前に本書をお読みいただき、内容を十分に理解したうえで、正しくお取り扱いくださいますようお願いい たします。なお、お読みになった後も大切に保管し、すくに参照できるようにお願いします。

お願い

- ・ 本書内の警告マークに記載されている内容は、必ずお守いください。
- ・ 本書の内容の全部、または一部を無断で複写、転載することは禁止します。
- 本書に記載してありますイラストは、製品の改良などにより、製品と合致しない箇所の生じる場合があります。
- ・ 本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容には、万全を期していますが、万一ご不明な点や誤り、お気づきの点がありましたら、弊 社またはご購入元までご連絡くださいますようお願いします。

Windowsは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。

IBMは、米国IBM Corp.の商標です。

ユーザー登録のお願い

本製品にはユーザー登録が必要です。36ページの説明に従い必ずユーザー登録を行ってください。

Copyright©2000 CAT EYE Co., Ltd. DLK2.0J-000426 2 Printed in Japan 0687550

e-Train Data™ 1

本取扱説明書の読み方

本製品の使い方、および使用時の注意点について詳しく説明しています。

本文中のマークの意味

アラートシンボルマーク



▲ 注意 このマークのついた文章は、取り扱い上大変重要です。必ず守ってください。

参考 知っておくと便利な機能または補足説明について説明しています。

本書について

本書はWindowsの基本操作および用語等は、すでに習得されていることを前提として書かれていま す はじめてWindowsをお使いになる方は 手持ちのWindows操作関連マニュアルを参考に その 内容を十分理解した上で本製品および本書をお使いください。

本書では以後『MSC e-Train Data™」をe-Train Data、『MSCシリーズ ハートレートコンピュータ』 をMSCユニットと表記します。

『「ファイル 〒開く を選択します」とは、メニューバーの「ファイル をクリックし、 表示されたプルダウ ンメニューから[開く]をクリックすることです。このように、[]で囲まれたコマンド名は、メニューまた はダイアログボックスの項目やボタンを表します。

マウスの操作については、次のように表記します。

クリック ------ マウスのボタンを押して、すぐに離すことです。

ダブルクリック -- マウスのボタンをすばやく2回続けてクリックすることです。

ドラッグ ------ マウスのボタンを押したまま、マウスを動かすことです。

前バージョンからの変更点(バージョンアップの方へ)

今回のバージョンアップに際し、次のような変更を行いました。

- ・メモリ計測データのグラフエリアにラップデータ、心拍目標ゾーンデータが読込み表示できるように なりました。読込んだ状態でのプリントも可能です。
- ・ラップデータ単独でもグラフエリアへ表示してプリントできるようになりました。
- カラー印刷に対応しました。
- ・ グラフエリアの横軸の目盛りが設定(表示・非表示、変更)できるようになりました。
- ・ グラフを滑らかにして見やすくするスムージング機能が加わりました。
- ・ 心拍数・速度・ケイデンスの各グラフが個別に表示・非表示を選択できます。
- ・選択できる通信ポートがCOM1~COM16に増えました。

2 e-Train Data™

目次

はじめに 1
お願い 1
本取扱説明書の読み方
本文中のマークの意味 2
本書について2
前バージョンからの変更点(バージョンアップの方へ)2
e-Train Dataの概要
e-Train Dataとは 4
e-Train Dataのデータ 4
e-Train Dataをお使いになる前に 5
パッケージの内容の確認5
e-Train Dataに必要な環境5
e-Train Dataのインストール6
e-Train Dataの基本操作
e-Train Dataでのデータの見方8
e-Train Dataの起動8
ファイルを開く・ファイルを閉じる9
画面の構成 10
区間データを表示する(区間指定)
グラフを拡大する 19
拡大したグラフを元に戻す 20
グラフの横軸を切替える 21
グラフを滑らかにする 22
心拍目標ゾーンデータを読込む
ラップデータを読込む 24
複数のファイルを並べて表示する複数のファイルを並べて表示する
プリント 27
e-Train Dataの終了 28
計測データのダウンロード
インターフェイスユニットの準備29
MSCユニットの装着 30
データのダウンロード 31
クイックリファレンス 34
トラブルと処理 35
保証規定36



e-Train Data™の概要

e-Train Data**とは**

e-Train Dataは、MSCユニットで計測したデータをパソコンへダウンロードし活用できるようにするソフ トウエアです。e-Train DataはMSCに蓄えたデータをパソコン上に取込むと同時に直接グラフ化し数 値データを表示します。比較、検討のためのe-Train Dataが持つ各種の機能はきっとお役に立てると 確信します。

e-Train Dataの主な機能・・・・

MSCユニットのデータ取り込み

MSCユニットに蓄積したメモリ計測、ラップ、心拍目標ゾーンの各データをパソコン側へ取り込み ます。ダウンロードしたデータは管理しやすい形で保存できます。

取り込みデータのグラフ表示

取り込んだデータは画面上でグラフ化して表示します。また印刷も容易に行えます。

データの分析

情報エリアの最大・最小・平均値は全区間・表示区間あるいは区間指定で表示され、データの分析に役立ちます。

画面

MSCユニットから取り込んだ各データはe-Train Dataのグラフエリアで直接グラフ化されます。 画面は次の機能を備えます。

分析ツール

区間指定・拡大・スムージングなどデータ分析に役立つツールを備えています。

異種データの同時表示

メモリ計測データのグラフ上へラップデータ・心拍目標ゾーンデータを読込み、重ねて表示できます。

複数ファイルの同時表示

複数のファイルを並べて表示することができます。いくつかのデータを見比べ、トレーニングの成果 を比較できます。

走行時間と走行距離の切替えと目盛りの変更

グラフの横軸は走行時間か走行距離かを選べます。切替えはツールバーでワンタッチで行えます。 また目盛りの数値の変更や表示・非表示の切替えも自在です。

e-Train Dataのデータ

MSCユニットで計測・蓄積したデータをe-Train Dataでパソコンへ取り込むと、CSV形式 カンマ区切 リテキスト)のファイルとなります。このファイルは一般的な表計算ソフト等で自在に加工・編集できま すので、e-Train Dataだけでなくいろいろな形で活用することが可能です。

▲注意 e-Train Dataのファイルを表計算ソフトで開いて上書き保存すると、以後e-Train Dataで開 けなくなる場合があります。表計算ソフトで保存するときは「上書き保存」ではなく「名前を付 けて保存」にするか、あらかじめバックアップをとってください。

e-Train Dataをお使いになる前に

e-Train Dataをお使いになる前に、次の項目の確認を必ず行ってください。

パッケージ内容の確認

e-Train Dataのパッケージには、次のものが入っています。 確認してください。

- A. フロッピーディスク プログラムディスク ------ 1枚
 B. インターフェイスユニット ------1個
 C. 単4型乾電池 ------4本
- D. 取扱説明書(本書) ------ 1冊

e-Train Dataに必要な環境

e-Train Data に必要なハードウェア

e-Train Dataを使うために、次のハードウェアが必要です。

・コンピュータ本体 ------ Windows95/98またはWindows2000が動作する環境

RS232Cポート(シリアルポート)が使用できること

(インターフェイスユニットの接続)

コネクターは9ピンのシリアルコネクターです。IBMおよびIBM互換機以外の

パソコンをご使用の場合、別途変換アダプターが必要です。

·ディスプレイ解像度 ---- 640 × 480 dot 以上

・ハードディスク ------ 2MB以上の空き容量

- ・プリンタ ------ Windows95/98またはWindows2000に対応しているもの
- ・その他 ------ Windows95/98またはWindows2000に対応しているマウス

e-Train Dataに必要なソフトウェア

e-Train Dataを使うために、次のソフトウェアがコンピュータにインストールされていなければなりません。

・Windows ------ Windows95/98またはWindows2000が必要です。

・プリンタドライバー ----- 印刷を行うには、Windowsに対応しているプリンタドライバーが必要です。

e-Train Data™ 5

e-Train Data™のインストール

e-Train DataをSETUP.EXEを使ってインストールします。インストール先を変更しないときはprogram フォルダの中にe-Train Dataフォルダが作成され、その中にインストールされます。

アンインストールの方法

マイコンピュータをダブルクリックし[コントロールパネル][アブリケーションの追加と削除 と開きます。 「アプリケーションの追加と削除のプロパティ」ダイアログの下半分の箱の中から 'e-Train Data " を選択し、「追加と削除」ボタンをクリックするとアンインストールが実行されます。

- 1. Windows95を起動します。
- 旧バージョンのe-Train Dataをお使いの場合はインストールの前に旧バージョンのアンインストー ルを行ってください。
- 3. e-Train Dataのフロッピーディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。
- 4. マイコンピュータをダブルクリックして開け、3.5インチFDを選択してダブルクリックします。



参考 エクスプローラからもインストールすることができます。

5. setup.exeをダブルクリックします。

🛃 35 インチ FD (A)								
ファイルビ 編集(ビ) 表示(V) 移動(G)	お気に入り(点) ヘルブ(山)							
\$•• \$•⊡ \$ 10 13 ≤								
名前	サイズ ファイルの種類	更新目時						
inst32i.ex	313KB EX_7>11	97/01/18 12:04						
isdel	8KB アプリケーション	95/09/07 19:22						
.setup.1	398KB 1 ファイル	00/04/27 9:34						
setup.lib	202KB LIB 7r1/4	00/04/27 9:34						
Disk1.id	1KB ID ファイル	00/04/27 9:34						
Setup.	45KB アプリケーション	97/01/18 10:53						
6 Setup 3	1KB 設定ファイル	00/04/27 9:34						
Setup	70KB Internet Communica	98/06/18 12:43						
Setuppke	1KB PKGファイル	00/04/27 9:34						
1 値のオブジェクトを選択	44.2KB 의 マイ コンビュ	-1 (1)						

[▲]注意 旧バージョンのe-Train Dataをお使いの場合はインストールの前に旧バージョンのアンインストールをお勧めします。また一度インストールに失敗した場合も同様にアンインストールを行います。

6. セットアップダイアログがインストールの進行状況を表示します。



7. インストール先のディレクトリを選択して「次へ」ボタンをクリックします。

選択したディレクトリが存在しない場合、e-Train Dataフォルダは自動的に作成されます。



8. インストールが終了すると完了を知らせるダイアログボックスが表示されます。



9. 終了ボタンをクリックするとインストールが完了します。

e-Train Data™の基本操作

e-Train Dataでのテータの見方

e-Train Dataによるデータ分析はメモリ計測データを基本画面として開きます。区間指定・拡大・スムージング等の機能を使ってトレーニングの結果を分析します。ラップや心拍目標ゾーンのデータも同時に ダウンロードして、メモリ計測グラフにそれらのデータを読込んでみましょう。これらのデータをオーバー ラップさせて表示させることで、より踏み込んだ分析や検討が行えます。

ラップデータは単独でグラフ表示できます。心拍目標ゾーンデータは単体で開くと表として表示されま す。しかしこの表から得られるデータはあまり多くありません。これらのデータはメモリ計測データと合わ せて活用していただくことでより多くの事柄の分析を可能にします。

e-Train Dataの起動、終了のしかたと基本操作を「サンプルファイル」を使って説明します。

e-Train Dataの起動

- 1. Windows95を起動します。
- 2. タスクバーの[スタート][プログラム][e-Train Data][e-Train をクリックします。 正常に起動すると、メニューバー、ツールバーが表示された次のような画面が現れます。



▲注意

e-Train Dataの起動が、正しく行えないときは、e-Train Dataのインストールを最初からやり直してください。

ファイルを開く・ファイルを閉じる



正常に起動したならば、メモリ計測データの「サンプルファイル」を開いてみましょう。

1. ツールバーの「開く」ボタンをクリックします。

ダイアログボックスが表示されます。

- メニューバーの[ファイル][開く]を選択しても同様に行えます。
- 2. ダイアログボックス内の「sample1」ファイルを選択し、開くボタンをクリックします。

884			? ×
ファイルの場所の:	🔁 e-Train	🗉 🖻 💆) 🖻 🏣 🔳
angle and a second a			
77-1小名四:	sample1		BBK (Q)
ファイルの種類①	CSV file	×	キャンセル

画面にサンプルファイルのデータ(メモリ計測)が表示されます。



3. ツールバーの「閉じる」ボタンをクリックします。

サンプルファイルが閉じます。

次の説明に移るため再び開く」ボタンをクリックして「sample1」ファイルを開いてください。



画面の構成

・メニューバー

[e-Train Data]のメニュー名を表示しています。メモリ計測データ、ラップデータ、心拍目標ゾーン データの全ての画面で共通します。メニュー名をクリックすると、そのメニューに含まれるコマンド(機能)の一覧がプルダウン表示されます。データにより選択できない項目はグレー表示となります。

メモリ計測データ画面の構成

画面は、ツールバー、各データを数値で表示する情報エリア、心拍数・速度・ケイデンスのデータをグラ フ表示するグラフエリアで構成され、データの把握や比較が簡単に行えます。拡大・区間指定といった より詳細なデータを見るための機能も備えています。



・ツールバー

ボタンをクリックするだけで次の動作が実行されます。

開く-----e-Train Dataのファイルを開きます。

保存 ------ e-Train Dataのファイルを上書き保存します。

閉じる-----・e-Train Dataのファイルを閉じます。

プリント ------ 画面をプリントするためのプリントダイアログを開きます。

ダウンロード ------ MSCメインユニットからデータをダウンロードします。(ダウンロードダイアログを開きます)

終了 -----e-Train Dataを終了します。

拡大 ------ 選択した範囲をグラフエリアいっぱいに拡大して表示します。

縮小 ------ 拡大したグラフを元の大きさに戻します。

区間指定 ------- 選択した範囲の区間データを情報エリア1「指定区間」ページに表示します。

横軸を変更 ------- 横軸の目盛りを時間にするか走行距離にするかを切替えます。

スムージング ------ グラフを滑らかにし、見やすいデータに変えます。

右クリックでスムージングレベル(滑らかさの段階を選択します。

心拍目標ゾーン --- メモリ計測データのグラフエリアに心拍目標ゾーンデータを読込みます。 右クリックで読込んだデータの1~4ゾーンの表示・非表示を選択します。

ラップ -----アレーション メモリ計測データのグラフエリアにラップデータを読込みます。



・情報エリア1

ダウンロードした日付などの各種情報や数値による分析結果を表示します。上部のタブをクリックすることでページを切替えます。

情報 -----・ファイルナンバー、ダウンロードの日付、名前等の情報欄です。日付、名前は自由 に変更できます。

情報 備考 全区間 表示区間	
ファイルナンバー	1
日付	2000/3/2
名前	キャットアイ太郎

備考 ------ データについてのメモが入力できます。最大で、全角15000文字、半角30000文字 まで入力可能です。

情報 備考 全区間 表示区間	
メモ欄です	
ここにコメントを入力できます	
	-

全区間 ------- メモリ計測データ全体についての各データの最大・最小・平均値を数値で表示しま

す。

情報 備考 全区間 表示区間			
	最大	最小	平均
心拍数	165	58	134
速度	45.4	0.0	28.6
ケイデン	115	0	77

表示区間 ------ 拡大を実行したときにグラフ内に表示される範囲の各データの最大・最小・平均値 を数値で表示します。

情報 備考 全区間 表示区間				
	最大	最小	平均	
心拍数	165	58	134	
速度	45.4	0.0	28.6	
ケイデン	115	0	77	

指定区間 ------ 区間指定を実行したときに、その区間での各データの最大・最小・平均値を数値で 表示します。(18ページ参照)

情報 備	考│全区	【間】表示[区間 指定日
	最大	最小	平均
心拍数	163	128	146
速度	43.0	14.3	33.8
ケイデン	105	53	90

心拍目標ゾーン 心拍目標ゾーンデータを読込んだとき全区間・表示区間・指定区間ページでは心 拍数の分布(時間・比率 をグラフエリアの表示ゾーンと非表示ゾーンに分けて数 値で表示します。 複数のゾーンをグラフエリアに表示したときは、表示する全ての ゾーンの最大値と最小値を範囲とします。



・情報エリア2

マウスカーソルポイントのリアルタイムデータとマークライン(濃いブルー)の位置を表示します。

カーソル ------ グラフエリアにマウスカーソルを移動させさせたとき、 カーソルのある位置のデー タを数値で表示します。

マーク位置 ---- グラフエリアの任意の位置でクリックすると、カーソル位置に濃いブルーのマーク ラインを引きその位置のデータを数値で表示します。

	カーソル	マーク位置
心拍数	145bpm	141 bpm
速度	33.7km/h	34.0km/h
ケイデンス	96rpm	97rpm
時間	00:12:00	00:24:30
距離	5.88km	12.64km

・グラフエリア

心拍数、走行速度、ケイデンスのデータを折れ線グラフとして表示します。

心拍数は赤ラインで、走行速度は青ラインで、ケイデンスは緑のラインで表示します。

▲注意 お使いのMSCユニットにケイデンス機能が無い場合は、ケイデンスは表示されません。

横軸は走行時間ですが、ツールバーの「横軸を距離(時間)に変更」ボタンで走行距離に替えられます。(11ページ参照)

区間指定の範囲やマークラインもこのグラフ上に表示されます。



ラップデータをこのグラフエリアに読込むことができます。読込みを行ったときラップポイントはで 表示されます。(24ページ参照)

心拍目標ゾーンデータをこのグラフエリアに読込むことができます。読込みを行ったときグラフエリアに表示しているゾーン範囲が色で塗られます。目標ゾーン1~4は個別に表示・非表示を選択できます。(23ページ参照)



14 <u>e-Train Data™</u>

•	ホッファッフヌニュー
	グラフエリア上で右クリックするとポップアップメニューが表れ、直接各機能を実行できます。
	メモリ計測データ表示 メモリ計測データのグラフエリアでの表示・非表示を選択します。サブ メニューから表示データを選択します。
	ラップデータ表示 ラップデータのグラフエリアでの表示・非表示を選択します。サブメ ニューから表示データを選択します。
	心拍目標ゾーン表示 心拍目標ゾーンデータのグラフエリアでの表示・非表示を選択しま す。サブメニューから表示ゾーンを選択します。
	拡大(乙)
	縮小(<u>D</u>) 拡大したグラフを元の大きさに戻します。
	区間指定(<u>S</u>) 選択した範囲の区間データを情報エリア1に表示します。
	目盛り(C) グラフエリア横軸の目盛りの間隔や消去を設定します。(21ページ参照)
	マーク消去(M)・ゲラフエリアに表示されているマークラインを消去します。



ラップデータ画面

ラップデータをe-Train Dataで開くと、ツールバー・ラップ回数や各データを数値で表示する情報エリア とラップポイントの心拍数・速度・ケイデンスをグラフ表示するグラフエリアが表示されます。



・情報エリア

ダウンロードした日付と総ラップ数を表示します。右側の表にはカーソル位置にあるラップポイント の心拍数、速度、ケイデンス、走行時間、走行距離の数値をまとめて表示します。

・グラフエリア

ラップポイントの時間と同時に心拍数、走行速度、ケイデンスのデータをグラフとして表示します。 ラップポイントの心拍数は赤の で、走行速度は青の で、ケイデンスは緑の で表示します。

```
▲注意 お使いのMSCユニットにケイデンス機能が無い場合は、ケイデンスは表示されません。
```

グラフ上ではカーソルはラップポイントに吸着されます。

▲注意 ラップデータ画面のグラフエリアにメモリ計測データや心拍目標ゾーンデータを読込む ことはできません。

心拍目標ゾーン画面

心拍目標ゾーンデータをe-Train Dataで開くと、設定した目標ゾーンと上限心拍数・下限心拍数・その ゾーンの滞留時間を数値で表示します。

心拍目標ゾーン画面はプリントアウトできません。



区間データを表示する(区間指定)

区間指定ボタンを使うと指定した範囲の区間データを情報エリア1の指定区間ページに表示します。

- ツールバーの「区間指定」ボタンをクリックします。
 ポップアップメニューの「区間指定」またはメニューバーの[ツール]] 区間指定]でも同様に行えます。
- 2. 範囲を指定します。

グラフエリア上にマウスカーソルを移動すると手の形をしたカーソルとなります。 区間データを求める範囲の一方をクリックします。

グラフエリア上にラインが引かれ範囲の始まり(時間または距離)が表示されます。



3. もう一方を指定します。

手の形をしたカーソルを求めたい範囲のもう一方でもう一度クリックします。

グラフエリアにラインが引かれ範囲の終わ以、時間または距離)が表示されます。



情報エリア1は指定区間ページが前面に出て、指定区間の最大・最低・平均値が数値で表示されます。 心拍目標ゾーンを読込んでいるときはゾーン毎の心拍数分布状況(時間・比率を数値で表示します。 選択範囲を解除するときは、もう一度「区間指定」ボタンをクリックします。



グラフを拡大する



Etrain

グラフの一部の範囲をグラフエリアー杯に横軸だけを拡大して表示し、情報エリア1の表示区間ページ に数値データで表示します。

1 ツールバーの「拡大」ボタンをクリックします。 ポップアップメニューの「拡大 またはメニューバーの「編集」「拡大 でも同様に行えます。

2. 拡大する範囲を指定します。

グラフェリアトにマウスカーソルを移動すると手の形をしたカーソルとなります。 拡大したい範囲の始めの位置をクリックします。グラフエリアに緑のマークラインが引かれ時間、距 離が表示されます。

続いてカーソルを拡大したい範囲の終わりの位置でもう一度クリックします。



選択した範囲がグラフエリアいっぱいに横軸だけが拡大して表示されます。

情報エリア1の表示区間タブをクリックすると拡大した区間の各データの最大・最低・平均値が数値 で表示されます。心拍目標ゾーンを読込んでいるときはゾーン毎の心拍数分布状況 時間・比率 を 同時に表示します。



e-Train Data™ 19

拡大したグラフを元に戻す

拡大したグラフを元に戻します

1. ツールバーの「縮小」ボタンをクリックします。



拡大される前のグラフに戻ります。

ポップアップメニューの[縮小]またはメニューバーの[編集][縮小]を選択しても同様に行えます。



参考

このボタン操作は、拡大したグラフを1つ前の状態に戻す操作です。何回か拡大を行っている場合、元 のグラフ表示に戻すにためには拡大時と同じ回数だけ「縮小」ボタンをクリックします。

グラフの横軸を切替える

横軸目盛りボタンを使ってグラフエリアの横軸を走行時間から走行距離に切替えられます。

ツールバーの「横軸を距離に変更」ボタンをクリックします。
 グラフエリアの横軸がTime(走行時間)からDistance(走行距離)に替ります。

メニューバーの「編集)」 横軸を距離(時間)に変更 を選択しても同様に行えます。







ヘルプ(H)

横軸を時間に変更

ample1.csv] ウィンドウ*W*グ

A

横軸目盛りの設定

横軸の目盛りの細かさや表示・非表示は自由に変更できます。

 マウスカーソルをグラフエリア上へ移動させ、右クリックする とポップアップメニューが表れます。

[目盛り を選択します。

- 2.「目盛り設定」ダイアログが表示されますので表示間隔・表 示開始位置の数値を入力します。
- 3. 目盛りを非表示にしたい場合はチェックを外します。
- 4. [OK]ボタンをクリックします。

参目盛り設定	
▶ 時間軸目盛りを	表示する。
表示間隔	600 秒
表示開始位置	0 秒
▶ 距離軸目盛りる	表示する。
表示間隔	5.00 km
表示開始位置	0.00 km



グラフを滑らかにする



計測時間が長い場合、グラフエリアの凹凸が細かく見にくいことがあります。スムージングボタンを使っ てグラフを滑らかにして見やすく表示できます。滑らかさは5段階から選択できます。

1. ツールバーの「スムージング」ボタンをクリックします。

グラフが滑らかにならされます。スムージング中は「スムージング」ボタンが押し込まれた状態となります。

メニューバーの[編集]]スムージング]を選択しても同様に行え、この場合サブメニューにより直接レベルを選択できます。

参考

「スムージング」ボタンでレベルを選択するにはボタンを右クリックします。レベルは高いほどより滑らかになります。





もう一度ツールバーの「スムージング」ボタンをクリックします。
 グラフはスムージングされていない元の状態に戻ります。



心拍目標ゾーンデータを読込む



心拍目標ゾーンのデータをダウンロードしている場合は心拍目標ゾーンボタンで表示中のメモリ計測 データのグラフエリアに読込むことができます。

心拍目標ゾーンデータを読込むと、情報エリア1の全区間・表示区間・指定区間ページでは心拍数の分 布状況(時間・比率)を表示ゾーンを主体に数値で表示します。

1. ツールバーの「心拍目標ゾーンファイルを重ねて開く」ボタンをクリックします。

メニューバーの[ファイル][重ねて開く][心拍目標ゾーン]でも同様に行えます。

ダイアログボックスが表示されます。

SK				? ×
ファイルの境所伊	🔁 e-Train	•	🗈 🌌	😁 🗄 🏛
sample1 sample11 sample2 sample2 sample22				
77-11-名心:	sample1z			夏天回
ファイルの種類(①):	CSV file		*	キャンセル

2. ダイアログボックス内のサンプルファイル sample1z.csv を選択し、「開くボタン をクリックします。





グラフエリアに心拍目標ゾーンのゾーン1が表示されます。表示中の目標ゾーンの範囲は色で塗ら れます。心拍目標ゾーン読込み中は「心拍目標ゾーン」ボタンは押し込まれた状態になります。 情報エリア1の心拍数の分布はグラフエリア表示ゾーンを主体に表示します。



読込み当初はグラフエリアには目標ゾーン1が表示されます。表示するゾーンはグラフエリア上で右 クリックすると現れるボップアップメニューの[心拍目標ゾーン表示]で選択できます。 いくつかのゾーンにチェックを入れることで複数のゾーンを表示することが可能です。 表示ゾーンの選択はメニューバーの[表示][心拍目標ゾーン]でも同様に行えます。

ラップデータを読込む

ラップデータをダウンロードしている場合はラップボタンで表示中のメモリ計測データのグラフエリアに 読込むことができます。

ツールバーの「ラップデータファイルを重ねて開く」ボタンをクリックします。
 メニューバーの[ファイル][重ねて開く][ラップデータ]でも同様に行えます。

ダイアログボックスが表示されます。

n			
ファイルの場所伊	🔁 e-Train	• 🖻 🗹	<u> 🖉 🗄 🗰</u>
Sample1			
sample12			
Sample2			
sample2z			
		C	
7711名(11):	sample11		MK(Q)
ファイルの種類(①):	CSV file	2	44220

2. ダイアログボックス内のサンプルファイル「sample1l.csv を選択し、「開く」ボタンをクリックします。



グラフエリアにラップデータが表示されます。ラップポイントは で表示します。ラップデータ読込み 中は、ラップデータファイルを重ねて開く」ボタンは押し込まれた状態になります。

参考

通常のマウス操作では情報エリア2にはメモリ計測 データが表示されますが、ラップポイントの数値情報が 見たい場合はCtrlキーを押しながらマウスを操作しま す。

グラフエリア上の + カーソルはラップポイントへ吸着され、情報エリア2のカーソルの数値はラップデータを表示します。

	- 8
カーソル	 マーク位置
140bpm	
33.1 km/h	
92rpm	
00:17:11	
0.71 luna	
	カーソル 140bpm 33.1 km/h 92rpm 00:17:11



複数のファイルを並べて表示する

複数のファイルを開いているとき、それらのファイルを画面上に並べて表示することができます。 縦並び 縦に並べる] 横並び 横に並べる] カスケード並び 重ねて表示]の中から選択できます。 1. メニューバーの[ウインドウ]の中の[縦に並べる] [横に並べる] [重ねて表示]の中から好みの並 べ方を選択します。

開いているファイル全てが並んで表示します。







横表示[横に並べる]





 メニューバーの[ウインドウ]の中の[縦に並べる][横に並べる]] 重ねて表示]の中から違う並べ 方を選択します。

選択した並び方に替ります。

参考

並んだファイルのうちカーソルでクリックしたファイルが前面に移動します。

ファイルは個別に閉じることができます。この場合閉じたファイルの位置は空いたままになりますが、もう一度メニューバーの[ウインドウ]から並べ方を選択すると、並べ直します。

プリント

e-Train Dataのデータを印刷します。

🍪 e-Train Data - [C:¥Program Files¥e-Train¥san 編集(E) 表示(V) ツール(T) ファイル(E) 拡大の A スムージング(S) 情報 備老 横軸を距離に変更(C) 設定(R) 応拍数 165 134 58

1. メニューバーの「編集」「設定を選択します。

カラープリントをするかモノクロプリントするかをラジオボタンで選択し「OK」ボタンを押します。

設定			×
	通信ボート COM1	•	_
	プリントアウト C モノクロ C カラー 3		
		ОК	Cancel

2. ツールバーの「印刷」ボタンをクリックします。

メニューバーの「ファイル 〒印刷 を選択しても行えます。

3.「印刷」のダイアログボックスが表れます。



各種設定を確認後「OK」ボタンを押します。

티사랑]	
- フリンター	▼ 7 ¹ µ [*] 7 ₄ (P)
状態: 通常使う7ツンタ:オンライン 種類: EPSON LP-8800 場所: ET-PS1 コパント:	
印刷範囲 (* すべて(<u>A</u>)	ED局倍防数 音陵奴(<u>C</u>): 1
ページ指定(g) ページから(g) ページから(g) ページをで①	□ 部単位で印刷◎
C 遥振」た部分©)	

表示しているデータがプリントアウトされます。

参考

数値情報とグラフは画面に表示している内容でプリントア ウトされます。

心拍目標ゾーンデータのみをプリントアウトすることはで きません。



e-Train Dataの終了

e-Train Dataを終了します。

1. ツールバーの「終了」ボタンをクリックします。



メニューバーの[ファイル][終了]を選択しても同様に終了します。

۲	e-Train Data	a - [D:¥e-]	Train¥samp	le1.c
2	ファイル(<u>E</u>)	編集(E)	表示♡)	ツ-
	開((<u>O</u>)		Ctrl+O	ſ
	上書き保護	存(<u>S</u>)	Ctrl+S	
1072	名前を付け	けて保存(A	.)	
	重ねて開く	(D)		
-	閉じる(<u>C</u>)			
E	印刷(<u>P</u>)		Ctrl+P	Ē
5	総て(2)			
	101 1 20	<u>-</u> z		

計測データのダウンロード

インターフェイスユニットの準備

MSCユニットに蓄えた計測データはインターフェイスユニットを使ってパソコンへダウンロードします。 まずインターフェイスユニットとパソコンの接続とMSCメインユニットの装着方法を説明します。





電池の装着

▲注意

新旧あるいは異種の電池を混ぜて使用しないでください。 使用済みの電池は幼児の手の届かない所に置き、正しく処理してください。

1. 使用するMSCモデルに合わせ転送ポートを選択します。

バッテリーカバーをスライドして開け、セレクトスイッチを切替えます。

接点によって転送するモデル(MSC-2Dxと3Dx)の場合はセレクトスイッチをC側にします。 (出荷時はC側にセットされています)

赤外線転送するモデルの場合はセレクトスイッチをIR側へ切替えます。

2. 電池を装着します。

図のように単4型乾電池4本の+-を間違えないように正しく装着してください。

3. 電源スイッチがOFFであることを確認します。

電源スイッチをONにするとインジケーターが点灯します。点灯しないときは電池が正しく入っていません。

▲注意

データ転送していなくても、電源スイッチがONになっていると電力を消費し、電池の寿命が短くなります。使用しないときはスイッチをOFFにしてください。

参考

電池の寿命はアルカリ電池の場合で約50時間です。電源スイッチをONにしてもインジケータが点灯しないときは電池を交換してください。





インターフェイスユニットのケーブルをパソコンRS232C端子(シリアルポート)に接続します。

▲注意

・ 接続はしっかり行ってください。接続が不確実な場合、転送がうまくできないことがあります。

ケーブルのコネクターは9ビンのシリアルコネクターです。IBMおよびIBM互換機に対応します。お使いのパソコン機種によっては別途変換アダプターが必要となります。



MSCユニットの装着

▲注意

MSCユニットとインターフェイスユニットの接点の接続が不安定な場合、 ダウンロードを失敗する場合があります。確実に固定してください。

MSCユニットをインターフェイスユニットのダウンロードステージに装着します。

図のように先に①MSCユニットの後方をフックにひっかけ、②前方を 押し込みます。カチッと音がしてMSCユニットが固定されます。

∆注意

MSCユニットの前後を間違えないでください。データ転送できないだけでなく、故障の原因となる場合があります。

 インターフェイスユニットの③電源スイッチを入れ、インジケータの点 灯を確認します。

以上でインターフェイスユニット側の準備は完了です。

外し方

ダウンロード終了後は電源スイッチを切り、開放ボタンを押すとMSCユニットがボップアップしロックが解除されます。

データのダウンロード

パソコンにMSCユニットのデータをダウンロードします。

29ページ「インターフェイスユニットの準備」に従いインターフェイスユニットをパソコンに接続し、電源を入れます。

パソコンにインターフェイスユニットが接続されている場合、e-Train Data使用途中でもダウンロードは可能です。

インターフェイスユニットにMSCユニットを装着して準備を整えます。

- 1. Windows95を起動します。
- 2. MSC e-Train Dadaを起動します。

タスクバーの【スタート】【プログラム】【e-Train Data】【e-Train Data をクリックすると起動します。

3. メニューバーの[編集][設定]で通信ポートが選択できます。使用する通信ポートに合わせて、[Com 1]~[Com 16]を選択します。

使用する通信ボートはWindows95のコントロールパネルで確認できます。詳しくはWindows95のマニュアル等をご覧ください。

Ŧ		×
	謝当ボート COM1 * 50000 * 50000 * ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	
	0K Carcel	

4. ツールバーの「ダウンロード」ボタンをクリックします。

[e-Train Data Download 」ダイアログボックスが表示されます。

🍪 e-Train Data - [C¥Program Files¥e-Train¥sample1	csv]
🥸 ファイル(E) 編集(E) 表示(V) ツール(E) ウィン	*ウ(W) ヘルプ(出)
情報 備考 全区間 ジウンロード	
$\overline{\mathbb{Q}}$	
e-Train Data ダウンロード 🔀	
ダウンロードの手順 1. MSOユニットをダウンロードできる状態にしてください。 2. MSOユニットをダウンロードユニットにセットしてください。 3. LAP ポタンを2秒目と手用してください。	
Download Data 愛信行教 愛信小小鼓 Cancel	



5. ダウンロードしたいデータをMSCユニットに表示させます。

メモリ計測、ラップ、心拍目標ゾーンの各機能がダウンロードできます。

MSCユニットのMODEボタン・SET/ATボタンを操作してダウンロードする機能の読出し画面を MSCユニットに表示させます。



6. MSCユニットのLAPボタンを2秒間押し続けます。

MSCユニットがダウンロードを始めパソコンへデータが転送されます。

ダウンロード中はデータの数値が早送りで表示されます。



彦考 ダウンロード中にエラーが起きたときはアラートが表示されます。

e-Train Dataを再起動し、ダウンロードをやりなおりしてください。

Etrain	×
ダウンロードに失	敗しました。
OK)

▲注意

ダウンロード失敗の原因としてMSCユニットとインターフェイス ユニットの接点の接続が不安定な事が考えられます。MSCユ ニットが確実にインターフェイスユニットに固定されているか確 認してください。

このような症状が頻発するときはMSCユニットを押さえながら ダウンロードを試してください。



7. データを保存します。

ダウンロードするデータによって手順が異なります。

メモリ計測データの場合:

ダウンロードが成功するとダウンロードしたデータファイルがグラフ表示された画面が開きます。 ファイルを閉じるときに保存ダイアログが表示されますので、保存先を指定しファイル名を付けて保存します。

ラップ・心拍目標ゾーンデータの場合:

ダウンロードが成功すると保存ダイアログが表示されます。

ファイル名を付けて保存	7				? ×
保存する場所(!):	🔁 etrain	•	E	8-8- 5-5- 6-6-	
を30301 そ30301L そ30301Z そ303023朝日 そ303023朝L そ303023朝Z	¹⁸ 3] 0303朝 ¹⁸ 3] 0303朝L ¹⁸ 3] 0303朝2				
▲ ファイル名(<u>N</u>): ファイルの種類(<u>T</u>):	osv file		.	保存(S) キャンセル	

保存先を指定しファイル名を付けて保存します。

ファイル名はラップまたは心拍目標ゾーンデータであることが判断できるような名前を付けると便利 です。

参考 続けてダウンロードするときは4.~7.の操作を繰り返します。

8. ダウンロードを終了します。

インターフェースユニットの電源スイッチをOFFにし、MSCユニットを外します。

クイックリファレンス

ファイル(<u>F</u>)	開く(<u>O</u>) Ctrl+O	既存のファイルを開きます。
	上書き保存(<u>S</u>) Ctrl+S	ファイルを保存します。
	名前を付けて保存(<u>A</u>)	ファイルを別名で保存します。
	重ねて開く(<u>l</u>)	開いているメモリ計測データのグラフにデータを読込みます。サブメ
		ニューからデータの種類を選択します。
	閉じる(<u>C</u>)	ファイルを閉じます。
		2つ以上データファイルを読み込んでいる場合は、最後に読み込んだ
		データファイルから閉じていきます。
	印刷(<u>P</u>) Ctrl+P	表示中の画面を印刷します。
	終了(<u>X</u>)	e-Train Dataを終了します。
編集(<u>E</u>)	拡大(<u>l</u>)	範囲を指定して、グラフを拡大します。
	縮小(<u>D</u>)	拡大したグラフを元に戻します。
	スムージング(<u>S</u>)	折れ線グラフを滑らかにします。サブメニューからレベルを選択します。
	横軸を距離(時間)に変更(<u>C</u>)	グラフエリアの横軸目盛りを距離(時間)に切替えます。
	設定(<u>R</u>)	通信ポートの選択やプリントアウトの設定を行います。
表示(⊻)	ツールバー(<u>T</u>)	ツールバーの非表示あるいは表示を切替えます。
	情報欄(<u>l</u>)	情報エリアの非表示あるいは表示を切替えます。
	メモリ計測データ(<u>A</u>)	メモリ計測データのグラフエリアでの非表示・表示を選択します。
	ラップデータ(<u>L</u>)	ラップデータのグラフエリアでの非表示・表示を選択します。
	心拍目標ゾーン(<u>Z</u>)	心拍目標ゾーンのグラフエリアでの非表示・表示を選択します。
ツール(<u>T</u>)	ダウンロード(<u>D</u>) Ctrl+L	MSCユニットのデータをダウンロードするためのダイアログを開きます。
	区間指定(<u>S</u>)	グラフ上で範囲を指定して、その区間での最大値、最小値、平均値を算
		出します。
ウインドウ(<u>W</u>)	縦に並べる(<u>H</u>)	ファイルを縦方向に並べて表示します。
	横に並べる(⊻)	ファイルを横方向に並べて表示します。
	重ねて表示(<u>C</u>)	ファイルをカスケード表示で表示します。
	その他	現在開いているファイル名が表示されます。複数のファイルを開いてい
		るとき、最も前面にあるファイル名にチェックマークがつきます。
ヘルプ(<u>H</u>)	バージョン情報(<u>A</u>)	現在のe-Train Dataのバージョンが確認できます。

トラブルと処理

故障かなと思う前に次の点を確認してください。

e-Train Dataがうまくインストールできない。

お使いになるパソコンはe-Train Dataを使用するうえで必要な要件を満たしていますか?

e-Train Dataを使用するには5ページに記載されたハードおよびソフト環境が必要です。

旧バージョンのe-Train Dataを使っていませんでしたか。

インストールの前に旧バージョンe-Train Dataをアンインストールしてください。また1度イン

ストールに失敗した場合も同様にアンインストールを行ってからインストールを行います。

MSCユニットのデータがダウンロードできない。

インターフェイスユニットは正しくパソコンに接続されていますか?

30ページを参照し、もう一度ハード上の接続を確かめてください。

スイッチをオンにしたときインターフェイスユニットのインジケーターは点灯しますか?

点灯しない時は電池寿命あるいは電池が正しくセットされていません。交換またはセットし直 してください。

インターフェイスユニットのセレクトスイッチの位置は正しいですか?

2Dx, 3Dxの場合はセレクトスイッチをC側にしてください。

MSCユニットが正しくインターフェイスユニットにセットされていますか?

30ページを参照し、正しくセットされているか確認してください。

e-Train Dataの「COMポートの設定」は正しく行われていますか?

メニューバーの[編集][設定]で通信ポートを正しく選択してください。

MSCユニットはダウンロードしたい機能の読出し画面になっていますか?

MSCメインユニットは読出し画面でLAPボタンを長押しするとダウンロードが始まります。ダウン

ロード開始と同時にMSC画面上でデータが早送りされるかを確認します。

メインユニットの画面上でデータが早送りしないときは32ページあるいはMSCユニットのユー

ザーマニュアルを参照し、MSCユニット側の準備を整えてください。

MSCユニットやインターフェイスユニットの接点が汚れていませんか?

接点を掃除してください。

ダウンロードは始まるが途中でエラーが出る。またはダウンロードが終了しない。

MSCユニットやインターフェイスユニットの接点が汚れていませんか?

接点を掃除してください。

MSCユニットとインターフェイスユニットの接点のかみ合わせがルーズな場合が考えられます。

ー度インターフェイスユニットに装着したMSCユニットを押さえながら試してみてください。

グラフエリアの横軸目盛りが表示されない。

ポップアップメニューの[目盛り]で「 目盛りを表示する」にチェックを入れてください。

プリントアウトがモノクロでしか出力されない。

メニューバーの[編集][設定]でプリントアウトのカラーにチェックを入れてください。

2年保証 インターフェイスユニット

電池の消耗は除く

正常な使用状態で、製造上の欠陥等により万一故障した場合は無料で修理・交換を致します。保証サー ビスは当社で直接行いますので、必ず故障状態を明記して、製品と共に当社宛てお送りください。当社 までお送りいただく際の諸費用はお客様にてご負担願います。修理・調整を完了次第に、当社よりお客 様へ郵送にてお届けいたします。なお電池の消耗は保証の対象とはなりません。

宛先 株式会社キャットアイ 製品サービス課

〒546-0041 大阪市東住吉区桑津2-8-25 TEL: 06-6719-6863 ダイヤルイン

FAX: 06-6719-6033

e-Train Data™の最新版について

ダウンロードソフトの最新版はCAT EYEのホームページから無料でダウンロードしていただけます。e-Train Dataの更新状況を定期的に確認されることをお勧めします。

┃ユーザー登録のご案内

キャットアイホームページ(http://www.cateye.co.jp)

保証サービスを敏速に行うために、お求めいただきました製品は速やかにユーザー登録を行って ください。テクニカルサポートを提供し、新たな製品開発等についてお知らせできるよう努力いた します。

ユーザー登録の方法は当社インターネットホームページ上でオンライン登録していただくか、裏 表紙のユーザー登録カードを切取って製品サービス課宛ご返送いただくかをお選びください。 登録には製品シリアル番号が必要になりますので、インターフェイスユニット裏面の7桁の数字 をお控えください。



お願い

ダウンロードソフトおよびインターフェイスユニットについてのご質問等は、EメールまたはFAXで お願い致します。お電話によるご質問にはお答えできかねる場合がありますのでご了承ください。 e-Train Dataのバージョンアップ等についての情報はインターネット上のCAT EYEホームペー ジをご覧ください。

著作権

本ソフトウエアは株式会社キャットアイの所有物であり、本ソフトウエアの構造、 構成、コードは株式会社キャットアイの業務上の重要な機密事項にあたります。 本ソフトウエアは米国および日本国の著作権法並びに国際条約の保護を受け ており、書籍その他の著作物と同じに扱わなければならない性格のものです。本 ソフトウエアを変更、改作、翻訳、リバースエンジニア、デコンパイル、ディスアセ ンブルしないこと、またはその他の方法でソースコードを解明しようと試みること を禁止します。株式会社キャットアイは本ソフトウエアに関するいかなる権利をも 付与するものではありません。